

レース名	斤量	クラス	コース	距離	馬場	レース質	荒れ度	自信度
中日新聞杯	ハンデ	GIII	中京	芝2000m	良想定	瞬発	大荒れ	C

※文字色の意味

2020/12/12

赤…GOOD妙味大な馬 - 青…BAD危険な馬

紫…DARKHORSE穴馬

枠番	名前	騎手	父	父系統	母父	母父系統	血統	適性	能力	データ	ベース	総合	人気	印	結果	大駆値
1	サトノガーネット	坂井	ディーフィンバクト	サンデーサイレンス	Victory Note	ノーザンダンサー	B	A	B	C	B	B	6	○		6
2	ポッケリーニ	松山	キングカメハメハ	キングマンボ	ダンスインザダーク	サンデーサイレンス	B	B	B	C	A	B	3	◎		3
3	テリトリアル	石川	Teofilo	サドラーズウエルズ	Street Cry	ミスターオブザ	C	D	C	C	D	D	8	消		8
4	ショウナンバルディ	岩田康	キングズベスト	キングマンボ	Redoute's Choice	デインヒル	C	D	C	C	C	D	10	消		10
5	ギベオン	岩田望	ディーフィンバクト	サンデーサイレンス	Ghostzapper	ヴァイスリージェント	A	B	D	C	C	D	13	消		13
6	トリコロールブルー	荻野穂	ステイゴールド	サンデーサイレンス	Pivotal	ヌレイエフ	C	B	C	C	B	C	4	△2		4
7	ワイプティアーズ	川島	ダイワメジャー	サンデーサイレンス	Fusaichi Pegasus	ミスターオブザ	C	D	C	C	D	D	16	消		16
8	タガノアスワド	富田	ネオユニヴァース	サンデーサイレンス	スピニングワールド	ヌレイエフ	C	C	D	C	D	D	14	消		14
9	ヴェロックス	川田	ジャスタウェイ	サンデーサイレンス	Monsun	ブランドフォード	C	D	C	C	D	D	2	消		2
10	デンコウアンジュ	吉田隼	メイショウサムソン	サドラーズウエルズ	マリエンバード	ニジンスキー	C	B	C	C	B	C	9	△1		9
11	グロンディオーズ	ルメール	ルーラーシップ	キングマンボ	サンデーサイレンス	サンデーサイレンス	B	D	C	C	D	D	1	消		1
12	バラックパリンカ	斎藤	ノヴェリスト	ブランドフォード	ジャングルポケット	グレイソヴリン	C	C	E	C	E	E	18	消		18
13	インビジブルレイズ	団野	ハーツクライ	サンデーサイレンス	サクラバクシンオー	プリンスリーギフト	C	C	D	C	C	D	15	消		15
14	シゲルピンクダイヤ	和田竜	ダイワメジャー	サンデーサイレンス	High Chaparral	サドラーズウエルズ	C	D	B	C	D	D	7	消		7
15	レッドヴェイロン	西村淳	キングカメハメハ	キングマンボ	ダンシングブレーヴ	リファール	B	B	C	C	B	C	12	△3		12
16	マイネルサーパス	丹内	アイルハヴアナザー	ミスターオブザ	タマモクロス	グレイソヴリン	D	E	D	C	E	E	17	消		17
17	オウケムーン	北村宏	オウケンブルースリ	グレイソヴリン	エリシオ	ノーザンダンサー	A	B	C	C	B	B	11	☆		11
18	サトノソルタス	池添	ディーフィンバクト	サンデーサイレンス	Petionville	ミスターオブザ	A	B	C	C	B	B	5	▲		5

※背景色付は特注血統保持馬(名前欄に色付きは母母が保持)

※評価はこのレース中の相対評価になります

PREVIEW
<p>中京芝2000mはスタート直後と最後の直線で2回急坂を登ることになる舞台設定で、一般的にファンが想像しているよりもタフな舞台と言って良さそう。スローペースからの瞬発力勝負になっても、ただキレルだけの馬ではなくてタフさを備えている馬が有利な舞台で、過去3年の決まり手がほぼ全て差し追い込みというのも納得か。昨年も超スローながらに追い込みが決まりましたし、今年もタフさを備えた差し馬を上位評価にすべきと見ます。</p> <p>本命はここでも能力上位だろう◎ポッケリーニに期待したい。未勝利も1勝クラスも1800mを勝利したにも関わらず、なぜそこからマイルに固執したことで出世が遅れた感じ。近走は距離を伸ばして本格化してきたのと、やはりこの血統だけにここに来て成長してきたのも大きい。前走のカシオペアSは外差し馬場で伸びないインを通過して2着に好走。今回のメンバーでも能力は最上位なはずで、中団ぐらいからスムーズに追い出せば上位争いだろう。</p>

REVIEW
<p> </p>

血統						
<p>中京芝2000mは急坂を2回登るので非常にタフな舞台。スローペースでもバワフルな差し馬が突っ込んでくるような舞台なので、ロベルとの血は相性が良い。ポールドルーラー、ヴァイスリージェント持ちも好成績</p>						
適性						
<p>急坂を2回超えるレイアウトのため他の競馬場の芝2000mよりもタフな舞台。ズバツと外から差し追い込みが決まりやすい。</p>						
データ						
<p>この時期に移行してからまだ3年なのでデータは全馬の評価とします。</p>						
ベース						
<p>タガノアスワドが引き離し気味に逃げる展開。あまり追いかけられる馬はいなそうで、2番手以下はスローになるか。タフさを持った馬同士の瞬発力勝負になりそう。</p>						
危険な馬						
<p>グロンディオーズ=上がり馬でルメール騎乗ということで人気になりそうだが、ここは危ない人気馬と見て良さそう。日本海Sは完全に展開が向いたのにソロフーズを差しきれず。前走は芝2400mの持続力勝負でダート馬のシロニイを交わすに手こづいたのを見てもキレがない。今回はこの距離では位置が取れない。</p>						
妙味大な馬						
<p>ポッケリーニ=未勝利も1勝クラスも1800mを勝利したにも関わらず、なぜそこからマイルに固執したことで出世が遅れた感じ。近走は距離を伸ばして本格化してきたのと、やはりこの血統だけにここに来て成長してきたのも大きい。前走のカシオペアSは外差し馬場で伸びないインを通過して2着に好走。</p>						
穴馬						
<p>オウケムーン=もう血統イメージ通りに踏びが大きくて長く良い脚が使えるサウスポー。今までの戦績を見てもスローで差し遅れた新馬戦とダービーしか左回りでは崩れていませんし、屈膝明けの2戦目だった前走も東京で激走。若干距離は短いと思うが特注のポールドルーラーとヴァイスリージェントを両方持っている。</p>						
<table border="1"> <tr> <th>タイム</th> <th>上3F</th> <th>下3F</th> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </table>	タイム	上3F	下3F			
タイム	上3F	下3F				
<p>ラップタイム</p>						

Copyright (C) 2014 - KAZ

AllRightsReserved.

本資料の一部または全部を、許可なく再配布することを禁じます。

枠番	名前	騎手	印	総合評価	想定人気	PREVIEW	結果	REVIEW
1	サトノガネット	坂井	○	B	6	今までの戦績を見てもある程度タフな舞台で差が決まるレースになれば最後は鬼脚を使って突っ込んでくれるタイプ。昨年は外差し馬場に恵まれたとはいえ、凄まじい脚であっさり突き抜けましたし、本質的にこの舞台は合いそう。小倉記念や新潟記念のレースぶりから衰えはないでしょうし、スムーズに外に回して速い出走ことができれば今年も走れていいはず。	0	
2	ポッケリーニ	松山	◎	B	3	未勝利も1勝クラスも1800mを勝利したにも関わらず、なぜかそこからマイルに固執したことで出世が遅れた感じ。近走は距離を伸ばして本格化してきたと、やはりこの血統だけにここに来て成長してきたのも大きい。前走のカシオペアSは外差し馬場で伸びないインを逃げて2着に好走。今回のメンバーでも能力は最上位ではなく、中団ぐらいからスムーズに追い出せば上位争いだろう。	0	
3	テリトリアル	石川	消	D	8	ここ2戦を見る限りでは復調傾向。ただ2戦ともにタフ馬場で上がりがかかる消耗戦になったのが良かった感じで、サドラーズウェルズ系の良さが活きるようなレースだったか。今回はレース上がりが自力が34秒台になりそうですし、石川騎手なら先行すると思うが、あっさり差し馬に飲み込まれて終わりそうな感じがします。	0	
4	ショウナンバルディ	岩田康	消	D	10	以前は逃げないとダメな馬だったが、最近は控える競馬でも対応できるように。小倉記念でも厳しい展開を考えればまずまずの競馬ができていますし、条件や展開が合えばオープン、重賞でも通用していいはず。ただ基本的にはタフな馬場で立ち回りを活かしてこそこの馬だと思えますし、高速設定の中京芝ではキレ負けするんじゃないでしょうか。見せ場は作れると思います。	0	
5	ギベオン	岩田望	消	D	13	昨年末ぐらいまではG111では明らかに上位の存在だったが、どうも中山金杯あたりから一気にパフォーマンスの低下が見られる感じ。金鯱賞は超スローをインでじっとして恵まれたの4着でしたが、新潟大賞典も最内を通ったとはいえ低レベル戦で負けすぎ。今回は重賞を制覇した舞台になりますが、休み明けでトップハンデとなると果たしてどうだろうか。	0	
6	トリコロールブルー	荻野極	△2	C	4	もともと道中ペースが流れる小回りコースでは走れなかった馬で、ゆったり追走しての直線勝負の舞台でしか好走実績はなし。それは近走も同じで今回は条件自体は合いそう。ただケフェウスSは完全に展開に恵まれた感じですし、今までのレースぶりからも重賞だと若干格負けしそうな感じがします。抑えまで。	0	
7	ワイプティアーズ	川島	消	D	16	スケールを小さくしたシングルピンクダイヤのような馬。オープン昇級後のレースぶりを見ても、明らかに上がりがかかって前が止まった時だけ差してこれている感じで、他に速い馬がいる時は差してこれない。このあたりがダイワメジャー産駒の差し馬の限界だろう。今回は重賞レベルになるとこの馬よりも速い上がりが見える馬がまず3頭はいるだろう。	0	
8	タガノアスワド	富田	消	D	14	とにかくハナに立ってマイペースで逃げてこそこの馬。今回は逃げることはできそうなメンバー構成だが、休み明けでこの相手だと能力的に厳しい。この馬が馬券に絡むかどうかというよりは、富田騎手がどんなペースで逃げるか、という方が気になる。	0	
9	ヴェロックス	川田	消	D	2	菊花賞は馬場と距離、有馬記念はハイレベル戦、小倉大賞典は馬場と敗因はあるとはいえ、いかにも中内田厩舎の早熟タイプの成長曲線を描いている馬。今回はそこからの約1年の休み明け。中内田厩舎で4歳秋以降で活躍している馬は皆無。そもそも立ち回りと持続力が売りの馬で、野路菊Sや東スポ杯などを見ても直線が長いコースでの決め手勝負は適性が低いだろう。	0	
10	デンコウアンジュ	吉田隼	△1	C	9	もう年が明けると8歳になるが、前走は苦しい休み明けでなおかつ差しが決まりにくい展開にも関わらずから差してきてあわやの4着。前走内容を見ても衰えはなさそうだし、今回は叩き2走目で明らかに調教も良化気配。ハンゾ56kgと言っても前走も同じだけ背負っていましたが、中京芝2000mはタフ差しが得意なこの馬には意外に合いそうであっていいはず。大穴で期待したい。	0	
11	グロンディオーズ	ルメール	消	D	1	上がり馬でルメール騎乗ということで人気になりそうだが、ここは危ない人気馬と見て良さそう。日本海Sは完全に展開が向いたのにソロフーズを差しきれず。前走は芝2400mの持続力勝負でダート馬のシロニイを交わすのに手こずったのを見てもキレがない。今回はこの距離では位置が取れないでしょうし、ルメールでも後方からの決め手勝負でこの馬を持つてくるのは難しいだろう。	0	
12	バラックパリンカ	斎藤	消	E	18	準オープンが完全に展開に恵まれた形で、オープン昇級後のレースぶりを見ても能力的に厳しい感じがします。今回も前に行く競馬をずらすとしても早々に差し馬に飲み込まれるでしょう。	0	
13	インビジブルレイズ	団野	消	D	15	オープン勝ち実績こそあるが、初富士Sは今振り返ってみてもかなりの低レベル戦。同じく低レベル戦だった新潟大賞典で馬場の良い部分を完璧に通れてさっぱりな内容でしたし、基本的に重賞では似が重いだろう。今回も条件こそまずまずだが能力的に厳しいと見ます。	0	
14	シゲルピンクダイヤ	和田竜	消	D	7	若駒時代はズバツキれる馬だったがダイワメジャー産駒らしく年をとってそこまでキレはなくなってきた感じ。一方で溜めない良さがない馬で、最近はそのジレンマに悩まされている感じ。今回は距離が長そうだし、この条件で和田騎手で外枠となると早めに動いてしまいそう。早めに動いてしまおうと末脚は使えないと思います。	0	
15	レッドヴェイロン	西村淳	△3	C	12	今年初旬の東京新聞杯では1番人気に推されていた馬。どうもその後のレースを見ても重賞レベルのマイル戦ではキレ負けている感じで、兄弟はマイラーですがこの馬はある程度距離があった方が良さそう。もう兄弟全てが左回り得意な典型的なサウスボーですし、長期休養明けで走った実績もあり。競上不安はありますが、おそらく全く人気もなさそうなので大穴で期待したい。	0	
16	マイネルサーパス	丹内	消	E	17	七夕賞と福島記念はベスト条件の福島コースなら何もできずの惨敗。どうも馬として調子を落としている感じが強い。今回はプリンカー着用となりますが、中京コースは昨年のこのレースでも適性外を感じさせるレースぶり。さすがに厳しいんじゃないだろうか。	0	
17	オウケンムーン	北村宏	★	B	11	もう血統イメージ通りに跳びが大きくて長く良い脚が使えるサウスボー。今までの戦績を見てもスローで差し遅れた新馬戦とダービーしか左回りで走っていませんし、厩舎明けの2戦目だった前走も東京で激走。若干距離は短いと思うが、このレースの特注血統であるボールルーラーとヴァイスリジェントを両方持っており、能力衰えてなければ大穴から突っ込んでいいはず。	0	
18	サトノソルタス	池添	▲	B	5	休み明けが(1-3-1-0)という戦績の一方で叩き2戦目が(0-0-0-4)という戦績を見れば一目瞭然の休み明け巧者。一度使うと反動が出てしまう感じで、今回のような間隔を開けたローテがベスト。ある程度上がりがかかる中京芝2000mはベストだと思いますし、ここは休み明けで走れる順番という点を考慮しても上位評価でいいんじゃないでしょうか。	0	